



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月29日

上場会社名 山洋電気株式会社

上場取引所 東

コード番号 6516 URL <http://www.sanyodenki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 山本 茂生

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部門担当 経理部部长 (氏名) 田母神 観一郎

TEL 03-5927-1020

四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	67,202	36.4	5,164	44.7	6,060	48.5	4,284	45.0
26年3月期第3四半期	49,282	4.5	3,569	37.7	4,081	45.5	2,955	72.5

(注)包括利益 27年3月期第3四半期 6,427百万円 (37.2%) 26年3月期第3四半期 4,686百万円 (187.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	68.98	—
26年3月期第3四半期	47.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	89,405	50,347	56.3	810.47
26年3月期	78,232	45,819	58.6	737.51

(参考)自己資本 27年3月期第3四半期 50,340百万円 26年3月期 45,813百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	7.00	—	8.00	15.00
27年3月期	—	8.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,000	25.6	6,700	39.0	7,000	30.4	5,100	36.8	82.10

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

従来、連結財務諸表の作成にあたっては、海外連結子会社14社の3か月前の財務諸表を使用し、連結会計上必要な調整を行っていましたが、連結財務諸表のより正確な把握を図るために、平成27年3月期より海外連結子会社においても当社と同時期の財務諸表を使用する方法に変更しています。

このため、上記の連結業績予想には、海外連結子会社の平成26年1月1日から同3月31日までの3か月間の業績も含まれています。

この措置の影響を除いた、平成27年3月期の連結対象の全社を同時期とした連結業績予想は下記のとおりです。

売上高80,360百万円(18.8%)、営業利益6,270百万円(30.0%)、経常利益6,580百万円(22.5%)、当期純利益4,790百万円(28.5%)、1株当たり当期純利益77円11銭

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	64,860,935 株	26年3月期	64,860,935 株
27年3月期3Q	2,748,143 株	26年3月期	2,741,211 株
27年3月期3Q	62,115,890 株	26年3月期3Q	62,125,747 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、円安や原油安などにより企業収益が改善し、設備投資が回復基調を維持するなど、引き続き緩やかな回復傾向にありました。そのような中で、当社グループの主要な販売市場である工作機械、ロボット、半導体製造装置などの設備産業業界においては、需要は順調に推移しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は67,202百万円（前年同期比36.4%増）となり、連結営業利益は5,164百万円（前年同期比44.7%増）、連結経常利益は6,060百万円（前年同期比48.5%増）、連結四半期純利益は4,284百万円（前年同期比45.0%増）となりました。

受注高は70,779百万円（前年同期比35.0%増）、受注残高は17,366百万円（前年同期比28.3%増）となりました。

なお、従来、連結財務諸表の作成にあたっては、海外連結子会社14社の3ヵ月前の財務諸表を使用し、連結会計上必要な調整を行っていましたが、連結財務諸表のより正確な把握を図るために、2015年3月期より海外連結子会社においても当社と同時期の財務諸表を使用する方法に変更しています。

このため、当第3四半期累計額には、海外連結子会社の2014年1月1日から同3月31日までの3ヵ月間の業績も含まれています。当第3四半期累計額に含まれる海外連結子会社の2014年1月1日から同3月31日までの実績は、以下の表の右欄のとおりです。

	(単位：百万円)	
	2015年3月期 第3四半期累計額	2014年1月～3月 海外連結子会社実績
売上高	67,202	4,641
営業利益	5,164	434
経常利益	6,060	425
四半期純利益	4,284	313

セグメントの業績は次のとおりです。

①日本

日本には、当社および連結子会社の山洋工業株式会社、山洋電気テクノサービス株式会社があります。セグメント売上高は62,912百万円（前年同期比24.2%増）となり、セグメント利益は3,857百万円（前年同期比69.9%増）となりました。

②北米

北米には、連結子会社のSANYO DENKI AMERICA, INC. があります。セグメント売上高は7,286百万円（前年同期比74.5%増）となり、セグメント利益は204百万円（前年同期比13.5%増）となりました。

③ヨーロッパ

ヨーロッパには、連結子会社のSANYO DENKI EUROPE S.A. およびSANYO DENKI GERMANY GmbHがあります。セグメント売上高は4,393百万円（前年同期比51.4%増）となり、セグメント利益は390百万円（前年同期比72.3%増）となりました。

④東アジア

東アジアには、連結子会社の山洋電気（上海）貿易有限公司、山洋電気（香港）有限公司、台湾山洋電気股份有限公司、SANYO DENKI KOREA CO., LTD. および山洋電気（上海）貿易有限公司の子会社である上海山洋電気技術有限公司、山洋電気（香港）有限公司の子会社である山洋電気貿易（深圳）有限公司、中山市山洋電気有限公司、山洋電気精密機器維修（深圳）有限公司があります。セグメント売上高は11,836百万円（前年同期比92.7%増）となり、セグメント利益は452百万円（前年同期比106.2%増）となりました。

⑤東南アジア

東南アジアには、連結子会社のSANYO DENKI PHILIPPINES, INC., SANYO DENKI SINGAPORE PTE. LTD. およびSANYO DENKI SINGAPORE PTE. LTD. の子会社であるSANYO DENKI (THAILAND) CO., LTD., SANYO DENKI TECHNO SERVICE (SINGAPORE) PTE. LTD. があります。セグメント売上高は14,965百万円(前年同期比57.7%増)となり、セグメント利益は312百万円(前年同期比46.5%減)となりました。

また、事業部門別の営業概況は次のとおりです。

①クーリングシステム事業

クーリングシステム製品「San Ace」は、大口市場であるデータセンタ向けサーバや、電源関連機器向けの需要が北米、台湾、日本で増加しました。

また、環境業界での太陽光発電用パワーコンディショナ向けの需要は一服感がありますが、サーボアンプや工作機械などファクトリーオートメーション業界向けの需要は堅調に推移しました。

その結果、売上高は18,147百万円(前年同期比32.6%増)、受注高18,098百万円(前年同期比26.4%増)、受注残高2,763百万円(前年同期比8.6%増)となりました。

②パワーシステム事業

パワーシステム製品「SANUPS」では、小規模太陽光発電に使用される小型パワーコンディショナの需要が急増し、受注が昨年10月以降大幅に増加しました。また、電源変換装置としては、生産設備向けピークカット電源装置、マイクログリッド向け制御電源装置を中心に需要が堅調に推移しました。

その結果、売上高は9,396百万円(前年同期比19.0%増)、受注高11,096百万円(前年同期比15.9%増)、受注残高4,288百万円(前年同期比14.4%増)となりました。

③サーボシステム事業

サーボシステム製品「SANMOTION」は、自動車関連、および中国でのIT関連の設備投資が底堅く推移し、工作機械、ロボット、射出成形機、一般産業機械向けの需要が増加しました。

特にロボット向けの需要は、中国での自動化が加速したことにより堅調に推移しました。

その結果、売上高は32,212百万円(前年同期比45.4%増)、受注高32,938百万円(前年同期比47.3%増)、受注残高5,429百万円(前年同期比41.8%増)となりました。

④電気機器販売事業

産業用電気機器、制御機器および電機材料の販売は、交通、通信、産業機器関連は堅調に推移しました。太陽光発電機器とその制御盤関連は全量買取制度見直しへの懸念がありますが、依然として順調な需要が続いています。

鉄鋼関連事業においては、業界の好調な経営状況の中、老朽化した生産設備機器更新に積極的な設備投資が実施されています。また、安定な稼働を保つため、重要設備の予備品などの需要も増加しています。

その結果、売上高は5,790百万円(前年同期比32.4%増)、受注高6,444百万円(前年同期比30.5%増)、受注残高3,669百万円(前年同期比31.2%増)となりました。

⑤電気工事業

製鉄プラントの設備工事関係は、生産設備の老朽更新工事および、補修工事が計画通り実施されました。

また、太陽光発電設備の機器、工事設計を含む一括施工の需要は前年度の認可済み案件に対する引合いが多く、年度末完工に向け、工事の進捗が加速しています。

その結果、売上高は1,655百万円(前年同期比40.4%増)、受注高2,200百万円(前年同期比76.0%増)、受注残高1,215百万円(前年同期比96.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結累計期間における財政状態は、前連結会計年度末と比較して、総資産で11,173百万円の増加、負債で6,645百万円の増加、純資産では4,527百万円の増加となりました。

総資産の主な変動要因は、受取手形及び売掛金の増加3,888百万円、建物及び構築物(純額)の増加1,347百万円、原材料及び貯蔵品の増加1,266百万円によるものです。

負債の主な変動要因は、支払手形及び買掛金の増加2,809百万円、退職給付に係る負債の増加1,225百万円、短期借入金の増加1,004百万円によるものです。

純資産の主な変動要因は、利益剰余金の増加2,390百万円、為替換算調整勘定の増加1,432百万円、その他有価証券評価差額金の増加585百万円によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、14,025百万円となり、前連結会計年度末より305百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の営業活動による資金の増加は、3,503百万円(前年同期間は3,921百万円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益6,050百万円、売上債権の増加額3,253百万円、たな卸資産の増加額2,087百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の投資活動による資金の減少は、3,005百万円(前年同期間は2,130百万円の減少)となりました。これは主に、生産設備等の有形固定資産の取得による支出2,300百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の財務活動による資金の減少は、1,069百万円(前年同期間は283百万円の増加)となりました。これは主に、短期借入金の増加額863百万円、配当金の支払額992百万円、長期借入金の返済による支出860百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2015年3月期の予想につきましては、2014年10月27日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)および「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の算定方法を変更しています。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が1,387百万円増加し、利益剰余金が900百万円減少しています。なお、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2014年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2014年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,162	14,622
受取手形及び売掛金	21,952	25,840
有価証券	60	257
商品及び製品	4,442	5,301
仕掛品	3,299	3,650
原材料及び貯蔵品	6,079	7,346
未成工事支出金	188	344
未収入金	484	592
繰延税金資産	850	746
その他	475	1,403
貸倒引当金	△36	△37
流動資産合計	51,959	60,067
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,614	9,961
機械装置及び運搬具(純額)	2,052	2,251
土地	6,443	6,458
建設仮勘定	817	580
その他(純額)	727	842
有形固定資産合計	18,656	20,094
無形固定資産	508	522
投資その他の資産		
投資有価証券	4,659	5,591
繰延税金資産	160	467
その他	2,317	2,679
貸倒引当金	△28	△18
投資その他の資産合計	7,108	8,720
固定資産合計	26,273	29,337
資産合計	78,232	89,405

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2014年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2014年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,703	15,512
短期借入金	8,265	9,270
未払法人税等	1,080	914
繰延税金負債	5	7
役員賞与引当金	72	52
その他	3,878	6,291
流動負債合計	26,006	32,049
固定負債		
長期借入金	2,206	1,593
リース債務	356	433
繰延税金負債	128	180
再評価に係る繰延税金負債	977	977
退職給付に係る負債	2,598	3,823
その他	139	-
固定負債合計	6,406	7,008
負債合計	32,412	39,058
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,926	9,926
資本剰余金	11,460	11,460
利益剰余金	23,605	25,995
自己株式	△906	△911
株主資本合計	44,086	46,471
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	690	1,275
土地再評価差額金	799	799
為替換算調整勘定	1,125	2,557
退職給付に係る調整累計額	△887	△763
その他の包括利益累計額合計	1,727	3,869
少数株主持分	5	6
純資産合計	45,819	50,347
負債純資産合計	78,232	89,405

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)
売上高	49,282	67,202
売上原価	37,999	52,175
売上総利益	11,283	15,026
販売費及び一般管理費	7,713	9,861
営業利益	3,569	5,164
営業外収益		
受取利息	37	58
受取配当金	87	98
為替差益	412	626
助成金収入	29	48
その他	27	149
営業外収益合計	594	983
営業外費用		
支払利息	62	56
その他	19	30
営業外費用合計	81	87
経常利益	4,081	6,060
特別利益		
固定資産売却益	1	1
特別利益合計	1	1
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産除却損	35	7
会員権評価損	-	3
役員退職慰労金	24	-
特別損失合計	59	11
税金等調整前四半期純利益	4,023	6,050
法人税、住民税及び事業税	962	1,806
法人税等調整額	105	△41
法人税等合計	1,068	1,765
少数株主損益調整前四半期純利益	2,955	4,285
少数株主利益	0	0
四半期純利益	2,955	4,284

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,955	4,285
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	608	585
為替換算調整勘定	1,122	1,432
退職給付に係る調整額	-	124
その他の包括利益合計	1,730	2,142
四半期包括利益	4,686	6,427
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,685	6,426
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,023	6,050
減価償却費	1,557	1,641
売上債権の増減額 (△は増加)	330	△3,253
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,272	△2,087
仕入債務の増減額 (△は減少)	972	1,987
その他	△467	1,016
小計	5,143	5,356
法人税等の支払額	△1,278	△1,946
その他	56	93
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,921	3,503
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,608	△2,300
その他	△522	△704
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,130	△3,005
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,219	863
長期借入れによる収入	1,257	-
長期借入金の返済による支出	△946	△860
配当金の支払額	△993	△992
自己株式の取得による支出	△5	△5
その他	△248	△74
財務活動によるキャッシュ・フロー	283	△1,069
現金及び現金同等物に係る換算差額	819	876
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,893	305
現金及び現金同等物の期首残高	9,733	13,719
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,627	14,025

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2013年4月1日 至 2013年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	日本	北米	ヨーロッパ	東アジア	東南アジア	計
売上高						
外部顧客への売上高	37,160	4,107	2,878	4,388	748	49,282
セグメント間の内部売上高または振替高	13,480	67	23	1,753	8,741	24,067
計	50,640	4,175	2,901	6,141	9,489	73,349
セグメント利益	2,270	180	226	219	583	3,480

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,480
セグメント間取引消去	88
四半期連結損益計算書の営業利益	3,569

II 当第3四半期連結累計期間(自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	日本	北米	ヨーロッパ	東アジア	東南アジア	計
売上高						
外部顧客への売上高	46,021	7,174	4,363	8,463	1,178	67,202
セグメント間の内部売上高または振替高	16,890	112	30	3,372	13,786	34,192
計	62,912	7,286	4,393	11,836	14,965	101,394
セグメント利益	3,857	204	390	452	312	5,217

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,217
セグメント間取引消去	△52
四半期連結損益計算書の営業利益	5,164

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、連結財務諸表の作成にあたっては、海外連結子会社14社の3ヵ月前の財務諸表を使用し、連結会計上必要な調整を行っていましたが、連結財務諸表のより正確な把握を図るために、2015年3月期より海外連結子会社においても当社と同時期の財務諸表を使用する方法に変更しています。

このため、当第3四半期累計額には、海外連結子会社の2014年1月1日から同3月31日までの3ヵ月間の業績も含まれています。当第3四半期累計額に含まれる海外連結子会社の2014年1月1日から同3月31日までの3ヵ月間の実績は以下のとおりです。

(自 2014年1月1日 至 2014年3月31日)

(1) 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	日本	北米	ヨーロッパ	東アジア	東南アジア	計
売上高						
外部顧客への売上高	—	1,841	1,074	1,446	278	4,641
セグメント間の内部売上高または振替高	—	19	8	600	3,391	4,019
計	—	1,861	1,083	2,046	3,669	8,661
セグメント利益	—	86	102	77	151	417

(2) 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	417
セグメント間取引消去	17
四半期連結損益計算書の営業利益	434